

第3号様式（第6条第1項関係）

市長	副市長	部長	課長	主幹・副主幹	主査・主査補	班員
付議・報告部課						

令和2年1月31日

会議結果報告書（行政経営戦略会議）

1 日時及び場所

令和2年1月31日（金）午前9時30分～ 本庁舎3階会議室301

2 出席者

企画政策課 永井課長、富田主査

3 件名

第5次総合計画後期基本計画の体系（素案）について

4 会議結果

- 案のとおり決定する。
- 一部修正の上、決定する。
- 継続して検討する。
- 案を否決する。
- 報告を了承する。

5 会議内容

- ・市長公約の一つである「健康づくり」はどう位置付けられているか。
⇒戦略3-2の(3)において、地域での健康づくりの場の充実を位置付けている。
- ・ライフステージに応じた健康づくりを位置付けることはできないか。
⇒検討する。
- ・市長公約の一つである「災害に強いまちづくり」はどう位置付けられているか。
⇒戦略3-2の(2)において、地域の防災力向上や消防団の体制強化を位置付けている。
- ・災害に強いまちづくりとして、1つの戦略の柱を設けることはできないか。
⇒災害対策は、3つの重点戦略に関連するものであることから、戦略の柱として位置づけることは難しい。横断的な形での位置づけを検討する。
- ・戦略3-3(2)で道路ネットワークの維持となっているが、道路の整備はどう位置づけられているか。
⇒道路の新設改良は、前期基本計画では重点戦略事業に位置付けていたが、道路の老朽化も進んでいることから、後期基本計画では道路の維持修繕を重点戦略事業とし、新設改良は分野別事業とする予定である。また、工業団地アクセス道路の整備や構想道路の計画化は、重点戦略事業に位置付けて取り組んでいく。
- ・道路の整備は実施しないと誤解を受けないように、表現を工夫してほしい。
⇒検討する。

備考 会議内容を簡潔に記載すること。

付議書(行政経営戦略会議)

部課名 企画財政部 企画政策課

件名	第5次総合計画後期基本計画の体系(素案)について																										
現状・課題	<p>白井市第5次総合計画前期基本計画が令和2年度で終了することから、前期基本計画の成果や課題を検証し、市民ニーズや社会経済情勢の変化を踏まえながら、引き続き将来像「ときめきとみどりあふれる快活都市」の実現に向けたまちづくりを進めるため、令和3年度からの5年間に取り組むべき方向性を示す後期基本計画の策定を進めているところである。</p> <p>策定方針に掲げた次の5つの視点に基づいて、庁内の策定会議と附属機関である総合計画審議会において今後のまちづくりの方向性を協議し、後期基本計画の体系(素案)をまとめた。</p> <p>【策定の視点】</p> <p>(1)本格化する人口減少、少子化・高齢化への対応 (2)選択と集中を基調とした戦略性の確保 (3)多様な主体との協働に立脚したまちづくりの推進 (4)政策・施策間連携と庁内横断的連携の推進 (5)行政評価との連動性の確保</p> <p>【これまでの協議状況】</p> <p>(庁内) 部長会議(部等長で構成) 5回 策定部会(課等長で構成) 4回 職員意見交換会(関係課職員で構成) 3回 (外部) 総合計画審議会 6回</p>																										
付議事案	目的	後期基本計画の体系(素案)を定め、後期基本計画(素案)の検討に移る。																									
	対応方針	<p>後期基本計画の体系(素案)を別添のとおりとする。</p> <p>【前期基本計画からの主な見直し内容】</p> <table border="1" data-bbox="416 1413 1394 1585"> <thead> <tr> <th colspan="2">前期基本計画</th> <th colspan="2">後期基本計画</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>戦略1-1</td> <td>ゆとりある暮らしを支えるまちづくり</td> <td>→</td> <td>戦略1-1</td> <td>ゆとりある暮らしを感じるまちづくり</td> </tr> <tr> <td>戦略2-2</td> <td>みどりが価値を生み出すまちづくり</td> <td rowspan="2">}</td> <td rowspan="2">戦略2-2</td> <td rowspan="2">みどりを育み活かすまちづくり</td> </tr> <tr> <td>戦略2-3</td> <td>みどりがつながるまちづくり</td> </tr> <tr> <td>戦略3-2</td> <td>地域拠点がにぎわうまちづくり</td> <td>→</td> <td>戦略3-2</td> <td>地域拠点でつながるまちづくり</td> </tr> <tr> <td>戦略3-3</td> <td>拠点がつながるまちづくり</td> <td>→</td> <td>戦略3-3</td> <td>拠点を結ぶまちづくり</td> </tr> </tbody> </table>	前期基本計画		後期基本計画		戦略1-1	ゆとりある暮らしを支えるまちづくり	→	戦略1-1	ゆとりある暮らしを感じるまちづくり	戦略2-2	みどりが価値を生み出すまちづくり	}	戦略2-2	みどりを育み活かすまちづくり	戦略2-3	みどりがつながるまちづくり	戦略3-2	地域拠点がにぎわうまちづくり	→	戦略3-2	地域拠点でつながるまちづくり	戦略3-3	拠点がつながるまちづくり	→	戦略3-3
前期基本計画		後期基本計画																									
戦略1-1	ゆとりある暮らしを支えるまちづくり	→	戦略1-1	ゆとりある暮らしを感じるまちづくり																							
戦略2-2	みどりが価値を生み出すまちづくり	}	戦略2-2	みどりを育み活かすまちづくり																							
戦略2-3	みどりがつながるまちづくり																										
戦略3-2	地域拠点がにぎわうまちづくり	→	戦略3-2	地域拠点でつながるまちづくり																							
戦略3-3	拠点がつながるまちづくり	→	戦略3-3	拠点を結ぶまちづくり																							
論点(決定を要する事項)	第5次総合計画後期基本計画の体系(素案)について																										
部内会議や関係課等との調整結果(主な意見・懸案事項)																											

スケジュール	R2.2月 総合計画審議会(後期基本計画(素案)の検討)					
	R2.3月 計画事業費の調整					
	R2.4月 総合計画審議会(後期基本計画(素案)の検討)					
	R2.5月 総合計画審議会(後期基本計画(素案)の検討) 後期基本計画(素案)の決定					
	R2.6月 パブリックコメント					
	R2.8月 総合計画審議会(答申)、後期基本計画(案)の決定					
	R2.11月 令和2年第4回定例会市議会に議案を提出					
	項目	有無	方法(時期)	項目	有無	方法(時期)
	条例規則	無		報道発表	無	
	議会説明	無		広報・HP等	無	
	市民参加	有	総合計画審議会			
	付議書公表	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 部分非 <input type="checkbox"/> 時限非 (まで)
参考情報	関係法令等					
	関係課					
	事業費	千円 (うち特定財源				千円)

第5次総合計画後期基本計画の体系（素案）



前期基本計画

後期基本計画(素案)

1-1 ゆとりある暮らしを支えるまちづくり	
取組目標	<ul style="list-style-type: none"> ●市街地や集落地などが緑や田園空間に包まれ、ゆとりの環境や都心へのアクセスが良いという特性を活かし、子どもや若い世代が白井らしい豊かな暮らしを楽しめる環境を整えていきます。 ●みどりの中にある文化資源を活かし、若い世代も含めて白井市の魅力を感じる、ゆとりある良好な暮らしの実現を目指します。
目標実現に向けた取組	(1)若い世代が魅力を感じるゆとりある住環境整備の促進 民間企業等と連携した住宅のリノベーション支援や菜園等が近接した良質な住宅の供給を促進します。
	(2)子ども連れで外出しやすい道路や公園・広場などの機能整備 公共施設のバリアフリー化を進めるとともに、公園・広場に子育ての場としての機能を整備し、利用しやすい環境をつくります。
	(3)みどりや文化資源などを活用した魅力ある暮らしの促進 市民団体等と連携しながら、若い世代がみどりやその中にある歴史や文化資源の魅力を発見できる機会をつくります。
1-2 働く場を生み出すまちづくり	
取組目標	<ul style="list-style-type: none"> ●農商工の連携や未利用地等への企業立地の誘導などにより、若い世代の雇用機会を広げます。 ●地域を舞台として多様な世代が様々な活動の実践を通じて新たな事業を起こすなど、地域の中で働ける場づくりを進めます。
目標実現に向けた取組	(1)工業団地などにおける市民の雇用拡大 工業団地見学ツアーなどを通じて、工業団地の魅力を発信し、市民雇用の拡大につなげます。
	(2)異業種・異分野間のネットワークづくりによる交流・連携の支援 農商工の連携をはじめ、事業者、市民団体などの交流・連携の機会をつくります。
	(3)未利用地や幹線道路沿道等における開発誘導 羽田空港と成田空港の中間地点にあり、国道16号が通過しているという白井市の立地特性を活かし、企業等の進出を誘導します。
	(4)起業希望者に対する支援のしくみづくりや起業を意識した学習機会の提供 起業を希望する若い世代の起業時の負担を軽減するとともに、起業家との交流や起業に必要な知識を学ぶ機会をつくります。
1-3 子育てしたくなるまちづくり	
取組目標	<ul style="list-style-type: none"> ●子どもの状況に応じて様々な子育て支援サービスを提供することで、安心して子どもを産み育てられる環境づくりを目指します。 ●子育て世帯を地域全体で支え、のびのびと楽しく子どもを育てられる環境づくりを進めます。 ●子ども一人一人とさらに向き合い、「子どもの教育なら白井」といわれるまちづくりを進めます。
目標実現に向けた取組	(1)利便性の高い場所での保育機会の確保 駅周辺など、利便性の高い場所で、小規模保育など多様な保育サービスを充実します。
	(2)子育てに係る経済的負担の軽減 子ども医療費助成を充実するなど、若い世代の経済的負担を軽減します。
	(3)地域での親や子どもたちの居場所づくりや子育て支援のしくみづくり 子育てサロンなど地域での親子の居場所をつくり、地域全体で子育てを支えるしくみづくりを進めます。
	(4)児童・生徒の個性に応じた学力向上など生きる力を育む教育の推進 地域の人材を活かした授業や補助教員の配置など児童・生徒一人一人と向き合うきめの細かい学校教育を一層充実します。

1-1 ゆとりある暮らしを感じるまちづくり		主な取組内容案
取組目標	<ul style="list-style-type: none"> ●市街地や集落地などがみどりに包まれたゆとりの環境や都心へのアクセスが良いという特性を活かし、子どもや若い世代が白井らしい豊かな暮らしを楽しめる環境を整えていきます。 ●地域資源を活かして、若い世代も含めて白井市の魅力を感じる、ゆとりある良好な暮らしの実現を目指します。 	
目標実現に向けた取組	(1)若い世代が魅力を感じるゆとりある住環境__の促進 企業等と連携した住宅のリノベーションや菜園などが近接した良質な住宅の供給を促進します。また、公園・広場を活用し、親子で楽しめる環境を整えます。	<ul style="list-style-type: none"> ・菜園付き住宅等の検討 ・公園施設の長寿命化 ・富士公園の整備
	(2)定住を希望する若い世代の支援 多世代での近居や大学進学時の定住など、若い世代の希望に応じて定住を支援します。	<ul style="list-style-type: none"> ・親元同居・近居の支援 ・大学進学時の奨学金貸付
	(3)地域資源を活用した魅力ある暮らしの促進 官民連携により白井市の見所や文化資源、イベントなど、さまざまな地域資源の情報発信を充実します。	<ul style="list-style-type: none"> ・官民連携による地域情報の集約・発信
1-2 働く場を生み出すまちづくり		主な取組内容案
取組目標	<ul style="list-style-type: none"> ●農商工や産学官の連携などにより、産業の活性化を図り、若い世代の就業機会を広げます。 ●多様な世代が様々な活動の実践を通じて新たな事業を起こすなど、働ける場づくりを進めます。 	
目標実現に向けた取組	(1)工業団地などへの就業支援 工業団地見学ツアーや高校・大学との連携などにより、市内外での市内企業の認知度を高め、市内での就業を促進します。また、近隣市と連携して市民の就業を支援します。	<ul style="list-style-type: none"> ・企業誘致の推進 ・無料職業紹介所の運営 ・就職フェアや合同企業説明会の開催
	(2)異業種・異分野間のネットワークづくりによる交流・連携の支援 農商工や産学官の連携をはじめ、事業者、市民団体などの交流・連携の機会をつくりま	<ul style="list-style-type: none"> ・産業振興ネットワークの開催
	→戦略3-3 拠点を結ぶまちづくり(1)へ移行	
	(3)起業希望者に対する相談・支援 起業を希望する若い世代に対して関係機関と連携した相談・支援を行い、起業を支援します。	<ul style="list-style-type: none"> ・経営・創業なんでも相談の開催 ・商工会でのワンストップ相談の実施
1-3 子育てしたくなるまちづくり		主な取組内容案
取組目標	<ul style="list-style-type: none"> ●子どもの状況に応じて様々な子育て支援サービスを提供することで、安心して子どもを産み育てられる環境づくりを進め、子育て世代が魅力を感じられるまちを目指します。 ●子育て世帯を地域全体で支え、のびのびと楽しく子どもを育てられる環境づくりを進めます。 ●子ども一人一人とさらに向き合い、「子どもの教育なら白井」といわれるまちづくりを進めます。 	
目標実現に向けた取組	(1)利便性の高い場所での保育機会の確保 駅周辺など、利便性の高い場所で、小規模保育など多様な保育サービスを充実します。	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもプランにおける保育のニーズ量を踏まえて検討
	(2)子育てに係る経済的負担の軽減 子ども医療費助成を充実するなど、若い世代の経済的負担を軽減します。	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども医療費の助成
	(3)地域での親や子どもたちの居場所づくりや子育て支援のしくみづくり 地域子育て支援拠点など地域での親子の居場所をつくることと、妊娠期から子育て期までの切れ目ない支援を進めます。	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て世代包括支援センターの運営 ・放課後子ども教室・学童保育の実施
	(4)児童・生徒一人一人に応じた学力向上など未来を生き抜く力を育む教育の推進 多様な人材を活かした授業、ICT環境などの教育環境の充実を通して、未来を生き抜く力を育む学校教育を一層充実します。	<ul style="list-style-type: none"> ・地域人材の活用 ・補助教員の配置 ・タブレット導入など教育の情報化の推進

ロジックモデル ◆若い世代定住プロジェクト

参考資料2

